

週間漁海況情報 2024年第34号

令和6年8月20日発行

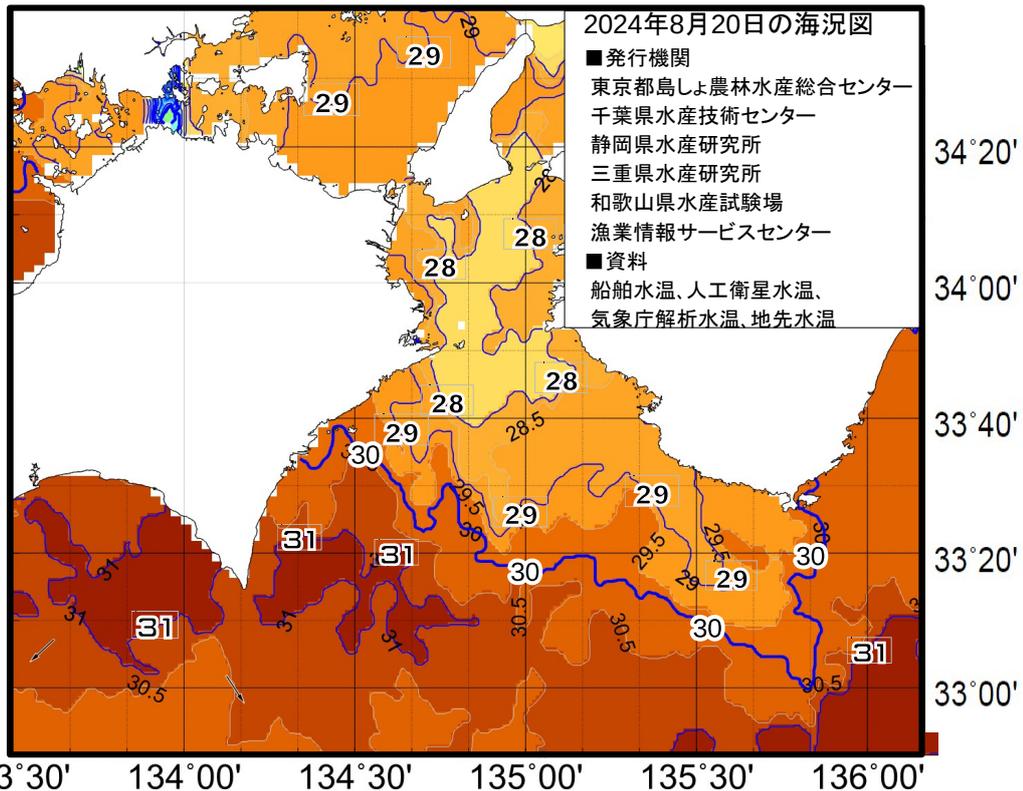
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖50マイル付近、潮岬沖75マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「離岸」しており、先週とほぼ同じ流路である。

黒潮の表面水温は30～31℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28～29、紀伊水道で27～28、海部沿岸で27～30℃台となっている。

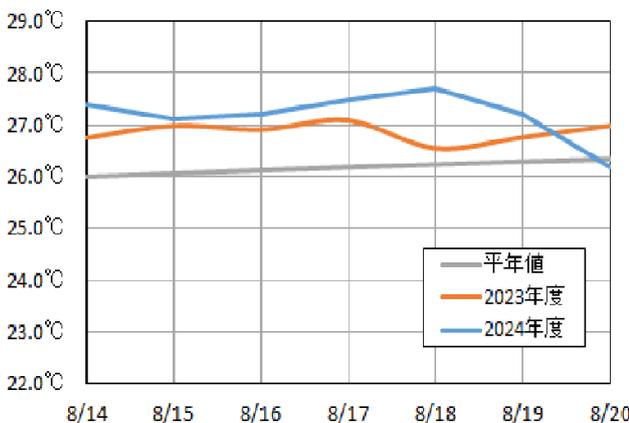


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(8月14日~8月20日)

鳴門地区の水温は、26.2~27.7℃で「平年並み」から「やや高め」、浅川地区は、27.9~29.9℃で「やや高め」から「かなり高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.5~2.7℃で、先週と比べてほぼ同じ。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(8月21日~8月27日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

漁況 (8月12日～8月18日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが112.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが大きく減って中主体に2.6ト、

あまだい類が大きく減って小主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って中主体に1.7ト、えそ類が減って0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆アジ級主体に1.6ト、メイチダイが増えて0.7ト、

イサキが0.7ト、マルアジが小主体に0.3ト、アイゴが大きく増えて0.2ト、

マダイが減って0.2ト、ふえふきだい類が増えて大主体に0.1ト、

マダコが大主体に0.1ト、カワハギが減って大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、アカムツが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが大きく増えて0.2ト、

かます類が増えて小小主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.05トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	49	シラス	112,050	2,287		
	延縄	18	ハモ	2,587	144	中主体	↘↘
		11	あまだい類	171	16	小主体	↘↘
	底びき網	17	ハモ	1,724	101	中主体	↘↘
		16	えそ類	540	34		↘
	小型定置網	15	マアジ	1,617	108	豆アジ級主体	↗
		14	メイチダイ	705	50		↗
		12	イサキ	669	56		→
		14	マルアジ	317	23	小主体	→
		10	アイゴ	236	24		↗↗
		13	マダイ	152	12		↘
		8	ふえふきだい類	101	13	大主体	↗
		11	マダコ	75	7	大主体	→
	海部沿岸	延縄	12	アカムツ	107	9	
小型定置網		5	カンパチ	154	31		↗↗
		5	かます類	127	25	小小主体	↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘